

キャンパス内で被災したら…

サバイバル 必携

全力で生き残らねば、家族の安全確保も
大切な学生生活もあり得ない

学校法人 関西大学

06-6368-1121

大地震発生時には、大学に対策本部が
設置されます。

“自分は大丈夫”と過信せず、安全確保
のため、必ず本部の指示に従いましょう。

Ver.2024

地震発生時初期動作

緊急地震速報時も同様の動作

初動行動のポイント
安全確保・冷静に状況把握

<授業中はどうするの?>

頭部を保護し、できるだけ机など丈夫なものの下に入って身を伏せる。

現場の教職員の指示に従い、何も確認しないまま教室外へは出ない。

<屋外にいるときは?>

カバンや着衣で頭部を保護し、ガラス飛散から身を守るため建物から離れて避難場所まで避難する。

※ガラス飛散範囲:建物高さの約1/2

揺れが収まってから行動

1. 避難指示が出てから、走らず落ち着いて階段を使って避難する。
2. 避難行動中も余震のある可能性が高いため、十分注意して行動する。
3. 避難場所へ着いたら、家族からの問い合わせに対応するためケガの有無、今後の予定等について安否確認シートを記入する。
4. ケガが無く、冷静に行動できる人は、できるかぎりボランティアに参加する。

家族との連絡 第1順位

災害用伝言板が唯一の通信手段と考え、日頃から使い方を覚えよう!!

家族間で電話会社が変わっても利用可能

災害用伝言板の使い方は、契約電話会社によって異なります。詳しくは、
「〔(契約電話会社名) 災害用伝言板〕で検索し、ご確認ください。

【NTTドコモ/au/SoftBank/
楽天モバイル以外のユーザー】

右記の災害用伝言板 (web171) 
【<https://www.web171.jp/>】
をご利用ください。

災害用伝言板体験デー

毎月1日・15日・正月三が日・「防災週間」(8/30~
9/5)・「防災とボランティア週間」(1/15~1/21)

家族との連絡 第2順位

災害用伝言ダイヤルの使い方

171 をダイヤル

【音声ガイド】 1 ⇒ 録音 2 ⇒ 再生

【音声ガイド】 被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

【伝言録音時間】

1伝言あたり30秒以内

【伝言保存期間】

録音してから48時間



ここをブックマーク

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

帰宅について

<留意事項>

- ・公共交通機関の途絶が発生している場合は徒歩で帰宅を検討すること
- ・歩速毎時2.5Kmで計算し、10Kmは4時間を要する
- ・革靴では10Kmが限度
- ・明るいうちに自宅到着できる者のみ帰ること
- ・明るいうちに自宅到着不可の者は避難所で泊まり翌朝帰宅すること
- ・大きな余震が収まってから帰宅すること
- ・同一方面は集団帰宅すること
- ・幹線道路を使い帰宅すること

その他場所での被災は？

◇自宅では

- ・まずは、落下物や倒壊物から身を守り、揺れが収まったら火の始末をする。ガラス散乱の恐れがあるので家の中でも靴を履くこと。

◇公共交通機関では

- ・身勝手な行動は、他人まで危険に巻き込む可能性があります。必ず、誘導係員の指示があるまで勝手な行動はしないこと。

◇地下街では

- ・周りがパニックに陥ってしまう可能性があります。まずは落ち着き、状況を正しく判断し、誘導係員の指示に従って行動すること。

緊急時個人証明カード

氏名： _____

性別： _____ 血液型： _____

自宅住所： _____

家族への連絡

家族① 氏名： _____

電話： _____

メール： _____ @ _____

家族② 氏名： _____

電話： _____

メール： _____ @ _____